

唐津市 ★★★★★★

議会だより

第68号 (令和2年5月1日)

目次

- ・ 議案質疑 P 2～P 4
- ・ 令和2年度当初予算・令和元年度3月補正予算 P 4
- ・ 予算等特別委員会審査報告 P 5～P 8
- ・ 一般質問 P 9～P15
- ・ 意見書(要旨) P15
- ・ 委員会提出議案・議席変更・編集後記 ... P16



過去の議会だよりを
ご覧いただけます。

見帰りの滝 (相知町)

議案質疑

提出された63件の議案に対して各会派から17名の議員が質疑を行いました。要約して報告します。

●凡例

総務...総務部長、政策...政策部長、財務...財務部長
 市民...市民部長、保健...保健福祉部長
 農水...農林水産部長、経観...経済観光部長
 未来...未来創生部長、都市...都市整備部長
 ボ企...ポータル企業局長、教育...教育部長

新庁舎建設始まる！

◎新庁舎整備事業費

【概要】 7億606万8千円
 建築後57年が経過し、老朽化に加え耐震性が不足している市役所本庁舎を、来庁者にやさしく、利便性の高い庁舎に建て替える。

質疑 財源の考え方及び財源内訳は。

総務 合併特例債の活用を

予定していたが、他の大型事業と調整・検討し、庁舎建設に活用できる公共施設等適正管理推進事業債を活用する。起債については総事業費約96億円のうち約80億5千万円を充当。この起債には基金の活用が条件の為、公共施設整備基金約9億3千万円を充てる。また旧庁舎解体工事及び外構工事は合併特例債約5億8

千万円を充てる。

質疑 スケジュールは。

総務 令和2年4月以降に

本体工事の入札を実施し本契約、令和2年7月から令和4年5月末までが工事、令和4年8月に新庁舎供用開始後に旧庁舎解体、令和5年4月以降に駐車場整備工事と広場整備工事を計画している。

質疑 工事発注の形態及び地元発注等の考えは。

総務 発注区分としては、

建築工事、電気設備工事、



通信設備工事、空調設備工事、給排水設備工事、駐車場整備工事、広場整備工事として発注予定。

地域活動の活性化にむけて！

◎地域の未来づくり推進交付金

【概要】 6400万円

全市を16地区に区割りし、各地区が組織する地域まちづくり会議が中心となり、市全体の社会課題の解決に向け、主体的に取り組むまちづくり活動に対し支援を行う。

質疑 事業の目的は。

未来 「地域の自立」として

人材の育成や地域の方々が課題等を見出し、それを共有し、課題解決に向けて実践すること。また「課題の共有」として地域と市が課題を共有するとともに連携し、市の施策

出来る限り分離発注に努め地元業者の受注機会の拡大に努める。



に反映させること。

質疑 対象となる団体は。

未来 当該地域の居住者で、

まちづくりに関心のある者、当該地域に存する各種団体の代表者、その他地域の推薦を受ける者で構成された団体。

質疑 まちづくり会議での

事業や課題を市全体の施策へ反映させるには。

未来 まず、まちづくり会議には市全体の社会課題

を地域に置き換えて事業展開を図ってもらう。次に、各事業の結果をもと

に、市の施策に反映できるか検討していく。

新唐津市民会館建設へ向けて！

◎新唐津市民会館（仮称）整備費

【概要】 6104万4千円

市民会館及び曳山展示場の解体・改築期間中、曳山を移設し、その保全を図りつつ展示公開を行うため、ふるさと会館（アルピノ）多目的ホールの改修工事を実施する。

質疑 アルピノ多目的ホール改修工事の内訳は。

【政策】 床の耐久性を高めるコンクリート工事、ガラス窓付き仕切り壁の設置、一部劣化がみられる屋根の補修、紫外線防止のための遮光カーテンの設置、照明器具をLEDランプへ、空調の吹き出しの風

向変更、湿度調整のための給水管の配置、施設への誘導・案内標示板等を設置する。

質疑 移設するメリットとデメリットは。

【政策】 メリットは施設整備費も含め保存にかかるコストが安価であること。また唐津駅に隣接することから駅からの新たな観光客等の人の流れが生まれ物産展示販売場の売上が見込まれる。デメリットは曳山を近づいて見ることができなくなる

こと。また、からつくんちの時の曳山の巡行路が変わってしまうことでの曳山関係者の負担増。

質疑 公開方法と入場料は。

【政策】 有料での一般公開。



導線については駅側から物産館を通るルートと、駐車場から直接入るルートが考えられるが、管理上の観点から、西側の物産館側の1か所のみを想定。入場料は現行どおり大人310円、小・中学生150円、未就学児無料と想定。

質疑 その他の管理費は。

【政策】 閉鎖期間である令和2年11月から令和3年3月の電気代82万7千円、ガス基本料6千円。

生産拡大と担い手の育成強化！

◎佐賀牛産地確立拠点施設整備事業補助金

【概要】 3375万3千円

県内における佐賀牛の主要産地である唐津地域において、肥育牛の生産基盤の強化及び畜産経営の安定化を図るため、佐賀牛産地確立拠点施設の整備に対し補助する。

質疑 佐賀牛産地確立拠点施設とは。

【農水】 ブリーディングステーションと呼ばれるもので、全国最大規模の肉用牛繁殖施設となる。

質疑 事業の詳細は。

【農水】 JAからつが計画する佐賀牛産地確立拠点施設の整備に対し補助を行うもので、令和2年度に牛舎やたい肥舎などを建設するため実施設計を行い、令和3年度建設工

事、令和4年4月から運用を開始。

【質疑】 就農希望者を受入れる研修の概要と研修後の就農支援は。

【農水】 一人前の繁殖農家となるべく施設内に住みながら、実習や座学を通じ牛の管理や繁殖経営のノウハウを習得。また人工授精師の必要資格も取得し、研修後に管内に就職してもらう仕組み。

質疑 事業効果は。

【農水】 唐津産、唐津育ちの佐賀牛を安定的に生産していく体制が強化される。また、未来の佐賀牛を担う農家の育成・確保を図る。



未来に残そう美しい山を！

◎からつの元気な森づくり事業費

【概要】 2626万円

唐津市森林環境基金を活用し、荒廃のおそれのある私有林等の間伐等を実施し、森林の持つ公益的機能の維持増進を図る。

質疑 令和2年度の事業内容と財源は。

農水 市内の私有林で荒廃の恐れのある森林を対象に、間伐等の整備をおこなう。財源は「唐津市森林環境基金」を活用する。

質疑 森林環境基金の活用については。

農水 森林整備事業がメインの事業。主な事業は間伐等になるが、その他、森林整備の担い手育成等の事業も検討する。

質疑 これまで実施されてきた県の森林環境税事業



との棲み分けは。

農水 県と市の事業と2つの事業をともに活かしながら、効率的に荒廃森林等の解消を進めていく。

質疑 今後の業務委託のスケジュールは。

農水 令和3年度以降における譲与額の増加に伴う対応として間伐等の整備面積を増加するとともに、森林整備の担い手育成・確保にかかる支援や森林整備の促進に関する事業などについて検討する。

令和2年度 唐津市一般会計 当初予算

692億9,643万1千円 を可決しました！

主な新規事業の概要は、次のとおりです。 **(前年比 +14億9,999万8千円)**

- 母子保健事業費（☆新生児聴覚検査費用助成） 11万7千円
- 予防接種費（☆ロタウイルス感染症予防接種） 1,758万6千円
- 観光市場開拓事業費（☆宿泊予約サイト内特設ページ開設） 770万円
- メディア活用推進費（☆肥前名護屋城と戦国武将の活用） 623万3千円
- 道路新設改良費（☆柳瀬下門線道路改良費） 1,045万円
- 消防通信指令施設管理費（☆Net119緊急通報システム構築業務、☆Net119緊急通報システム使用料） 133万1千円
- 地域防災力向上促進事業費（☆防災士資格の取得に対する補助） 24万円
- 小・中学校コンピューターシステム整備費（☆ICT支援員の配置） 1,447万7千円
- スポーツ推進委員費（☆障がい者スポーツ指導員資格の取得に対する補助） 3万円
- 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催準備費（☆実行委員会運営負担金） 557万1千円



《特別会計》

- 処理場費（☆高串地区漁業集落環境整備事業基本計画策定及び費用対効果分析） 828万3千円



令和元年度3月補正予算 10億310万3千円 の減額を可決しました！

(令和元年度予算総額 **706億6,294万3千円**)

◎幼稚園費（唐津幼稚園）

【質疑】令和3年度までの考え方は、令和2年度が15人、令和3年度が4人となる。令和3年度まで運営するかどうかは、教育委員会でも協議する。市長部局としては、政策調整会議の審議項目となっている。市長部局と教育委員会の方針との合意形成を図るために総合教育会議を開催し結論を出す。

◎小学校・中学校普通教室等空調整備事業費

【質疑】統合検討中の学校に対しては、【答弁】夏場の猛暑に対する児童生徒の安全な教育環境の整備として行う。計画が令和2年度までとなっており、統廃合協議の状況等を見ながら検討する。

◎公民館等施設整備費

【質疑】竹木場公民館の進捗状況は、【答弁】当初は令和2年度完成予定であったが、実施設計が延び、開館は令和3年度末となる。

◎公民館等施設整備費

【質疑】約1100万円の減額補正の要因は、【答弁】建設地購入で、地権者の合意が得られず、現在の市有地内での建設となった為、公有財産の購入費、補償、移転費等を減額した。

◎地元との合意形成については、

【答弁】臨時建設委員会を開催して頂き了承を得た。また、県道の供用開始は、令和4年度であり問題無。

◎西唐津公民館の進捗状況は、

【答弁】実施設計に入るために、敷地測量、ボーリング調査を行っている。令和3年度完成予定であったが、令和4年度完成予定。

◎近代図書館図書購入費

【質疑】文部科学省告示に沿った数値目標は、

【答弁】3月の定例教育委員会に諮り公表予定。数値目標達成は令和5年度となる。

◎公共図書館を結ぶシステムがあるが、

【答弁】県立図書館が中心となり各市町の図書館をネットワークでつないでおり、唐津市以外の市町の本も貸す事が出来る。近代図書館内の貼紙、市HPにて周知。

◎ネットワークシステムにアクセス出来るポイントを増やし貸出冊数を伸ばすべきでは、

【答弁】便利だとは思いますが、研究する。

◎西部学校給食センター（仮称）整備事業費

【質疑】旧打上中学校グラウンドと決めた経緯は、

【答弁】約7000㎡の敷地が必要。適地がなく、廃校施設で検討した。3校あったが、グラウンドの利用状況、敷地の登記の状況などを勘案し決定した。

◎道路からグラウンドを抜けて校舎がある。校舎を、給食センターの一部としての活用は、

【答弁】基本設計の中で検討する。

◎近代図書館特別展図録売払収入

【質疑】予算1万円だが実情は、

【答弁】平成29年度14冊24万9800円、平成30年度0冊0円、令和元年度22冊3万3800円。

◎図録は何冊ぐらい作成されているのか、

【答弁】500冊から1500冊を作成し、販売冊数は前の答弁のとおり。残りは図書館に保管。金額にして3000万円程になる。

◎消防通信指令施設管理費

【質疑】Net119システムの登録者は、

【答弁】登録者数の上限は無い。

◎高齢者等の利用については、

【答弁】高齢者には有効だが、Net119は消防指令システムとは連動していない。そのため、Net119に通報された内容を改めて指令システムへ入力し場所などを確認する必要がある。音声通報は直接指令システムでの受信となり迅速に対応できる。

◎市民センター地域振興分

【質疑】令和2年度予算が減となっているが、

【答弁】第三四半期を集計した時点で、道路に要する経費の執行率が悪かった。道路維持改良費については、全体予算があり、年度中盤ぐらいから地域の要望に応じた緊急性がある経費が発生したためと分析。

◎項目が4項目あり使いづらいが、

【答弁】市民センターが緊急かつ必要な事業について市民センターの判断で迅速に取り組める予算である。1年間やってみて模索もしたが、まずは2年間実行し必要性などを検証し、令和3年度以降を考えたい。併せて、予算の趣旨についても改めて説明したい。

◎地域エネルギー創出事業費

【質疑】スマートレジリエンス拠点事業で平成31年度の国の交付金が1億7000万円下がったが、影響は、

【答弁】平成30年度から令和3年度までの事業で計画していたが、令和6年度までの事業として進めていく。国の交付金（補助率100%）に対し応募する自治体が増えてきている。この点を考慮し3年間の延長とした。

◎地域エネルギー会社立ち上げは、

【答弁】唐津パワーホールディングスとして、令和2年1月から営業活動を始め、ポートレックス場の一部に電力を供給している。令和2年1月から唐津パワー社長が、社長に就任。

◎からつ力向上推進費

【質疑】公共施設再配置計画についても協議されているが、議会での特別委員会との合同協議が必要では、

【答弁】創生会議では純粋な市民目線での協議である。議会での特別委員会との意見交換は当然行うべきである。

◎未来づくり研究会でSDGsカードゲームの実施研修を行い良かったので、全職員に広める。その為にファシリテーターを育成することだが、

【答弁】ファシリテーターを招聘し研修。【質疑】大学連携について、唐津市でテーマを決め早稲田大学にお願いされているが、大学側からの提案は無いのか。また、単年度で行われているが、複数年度で同じテーマを追いかけられることも必要では、

◎大学側とはそのような協議もしている。複数年での取り組みについて、研究室等との連携で事業が出来ないか調整中である。

◎防災情報ネットワーク整備費

【質疑】個別受信機の電源は、

【答弁】持ち運び可能なように電池とAC100ボルトの併用式を採用。

【質疑】個別受信機の配布方法は、

【答弁】全世帯を対象に希望調査を行う。納入業者で公民館まで配布し取りに来ってもらう。

◎戸別受信機の使用開始時期は、

【答弁】令和2年度末を予定している。

◎故障の場合の対応と更新時期は、

【答弁】故障についてはコールセンターにて対応。更新スパンは10年を予定。

◎現地調査

・唐津市近代図書館（新興町）

（5）唐津市議会だより 令和2年5月1日

◎議案第14号令和2年度唐津市モーターボート競走事業会計予算

【質疑】「ボートレースからつ」の収益等の現状は。

【答弁】新型コロナウイルス感染症対策で2月28日から無観客レースを行っている。その影響で約1億円の収益減を見込んでいる。

◎唐津市民交流プラザ運営費

【質疑】九州電力からの寄附金が5億円予定されているが、現在の寄附金額は。

【答弁】平成22年に1億円、平成23年に5000万円、平成30年に2億円、令和2年3月に3000万円が寄付され、総額3億8000万円となっている。

【質疑】寄附金の用途は。

【答弁】基金に積み立て、運営費として毎年約1800万円を取り崩している。

◎生活路線バス等運行対策事業費

【質疑】事業費が2億円と膨らんでいるが、事業者がこの金額の補助金で今後どのくらい事業が出来るのか。

【答弁】現在、事業者の欠損額は総額で2億5千万円程度。欠損額を事業

費で補助している。今後、再編した地区の評価をし、減便等の見直し等を含めて事業者と再度検討していく。

【質疑】厳木地区で4月1日からデマンド運行を開始するが、相知地区は

【答弁】既存路線の運行形態を含めて再編を協議していきたい。

◎地域の未来づくり推進交付金

【質疑】この事業は新規事業とあるが、従来の事業と変わらないのでは。

【答弁】「市民協働のまちづくり交付金」は、平成27年から5年間実施した。その成果の検証で、ソフト事業について補助継続の要望があり、継続ではなく新たな形を変えた事業に考えた。

【質疑】事業が、まちづくり協議会という地域の一部分の人たちで決まってしまうのでは。

【答弁】現在の役員体制を見ると特定の人たちでの組織となっている所もある。まちづくり協議会は、幅広い人材で組織し、一緒に地域のまちづくりについて考えて頂くことを代表者会議等で指導している。

【質疑】まちづくり会議の事務局のあり方は。

【答弁】市民センター職員が手伝いをしている所がある。事務局はまちづくり協議会の中で担っていただき、市としてはアドバイスや指導等を行っていききたい。

【付帯意見】

- 1、単年度事業として実施し検証を行なうこと。
- 2、実施事業の発表会を行うこと。
- 3、地域まちづくり会議の事務局のあり方を明確にすること。
- 4、地域まちづくり会議の委員について、幅広く人材を募ること。
- 5、地域から提案されたまちづくり計画の審査体制の確立をはかること。

◎賑わいのまちづくり推進事業費

【質疑】事業の内訳は。

【答弁】動向調査に約5万円と「中心市街地活性化協議会」に194万円。

【質疑】推進事業費となっているが運営費では。

【答弁】運営補助金と捉えている。以前、事業費と運営費を併せて行っていたことを引き継いでいることから事業という予算名になっている。

◎旧大島邸管理運営費

【質疑】入館者が増加をしていないが集客対策は。

【答弁】他の施設と連携して使用するなどの工夫をしている。

【質疑】現在は市の直営で運営をしているが、指定管理などの考えは。

【答弁】令和2年度中に部内で協議をし、周知期間を設けて、令和3年度くらいには方向性を決定したい。

《現地調査》

・唐津市民交流プラザ



唐津市民交流プラザ（南城内）

◎道路維持改良費

【質疑】今年度の予定箇所数は。

【答弁】前年度からの継続箇所を含め、地元から要望のあった箇所から、現地を確認し39箇所を予定している。

本庁11箇所、浜玉5箇所、厳木4箇所、相知3箇所、北波多3箇所、肥前3箇所、鎮西3箇所、呼子3箇所、七山4箇所を予定している。

◎道路照明管理費

【質疑】全体数とLED化の今年度予定箇所数は

【答弁】全体数は9096基。今年度300基程度を予定している。

【質疑】LED化の状況は。

【答弁】平成30年度末で約3割の2741基である。

◎こどもを守る通学路づくり事業

【質疑】採択の決定は。

【答弁】各小学校から要望のあった路線について、学校、警察、道路管理者で合同点検を実施し、合同点検で要対策となった箇所について実施。

◎交通安全施設整備費

【質疑】工事箇所は。

【答弁】各地区から令和元年度までに、カーブミラー等要望のあった中から、現地を確認し危険性が高い箇所を優先

し工事予定。

【質疑】事業内容は。

【答弁】転落防止策としてガードレールやガードパイプなどを設置予定。

◎市道明神線無電柱化事業費

【質疑】事業内容は。

【答弁】水道・ガスの移設、地上機設置箇所の用地測量及び用地買収と補償算定及び物件補償を予定。

【質疑】今後の計画は。

【答弁】令和3年度から令和4年度に電線等を入れる共同溝の埋設工事、令和5年度に電線等のケーブル入線地上機の設置、道路舗装工及び既存電柱の抜柱を予定している。

◎唐津市下水道会計

【質疑】マンホール更生とは何か。

【答弁】硫化水素が原因でコンクリートが腐食したマンホールが見つかった。マンホール内部を樹脂等でコーティングし、強度と耐腐食性に優れた施設へ更生をかけるもの。

◎議案第34号唐津市道路構造基準条例の一部を改正する条例制定について

【質疑】改正の理由は。

【答弁】道路構造令の一部改正に伴い唐津市道路構造基準条例の一部を改

正するもの。

【質疑】改正内容は。

【答弁】安全かつ円滑な交通を確保するため自転車の通行を分離する必要がある場合は、原則車道の左端寄りに自転車通行帯を設けることとする。自転車通行帯の幅員は、原則1.5m以上とする。

◎議案第73号市道路線の廃止及び認定について

【質疑】認定基準は。

【答弁】(1)幅員が4メートル以上、(2)起点・終点が国県市道に接続している、(3)袋状道路の場合には35メートル以内ごとに自動車の転回広場が必要(幅員6m以上を除く)、(4)境界標が明示、(5)アスファルト舗装、

(6)30センチ以上の車両対応の道路側溝、(7)対象戸数が6戸以上の住宅があること。

◎議案第10号令和2年度唐津市水道事業会計

【質疑】老朽管更新の今後の予定は。

【答弁】平成30年からの20年間で約1289kmで工事費

は約121億円。

【質疑】市民センター管内も老朽管があるのでは。

【答弁】市民センター管内は比較的新しく、最初の10年間はより古い市街地を優先する。

《現地調査》

- ・厳木多久共同浄水場(厳木町)
- ・東城内町田線(町田)



厳木多久共同浄水場(厳木町)

◎コミュニケーション支援事業費

質疑 手話通訳による支援・手話等普及啓発事業を委託する理由は。

答弁 市が条件をつけて直接雇用する場合、応募があるのか不安がある。唐津市手話の会の場合は、資格を持った人材を確保できる会であり、市内の聴覚障害の情報も把握している団体でもあるので委託している。

質疑 手話通訳の派遣者に対する市の認識は。

答弁 手話通訳者の資格を持った方であれば、委託業務は確実に実施できると考えており、そういった方を確認して派遣をお願いしたい。

質疑 手話通訳者の増員及び今後の展開は。

答弁 今回1人増員し2人体制で事業所、学校、団体等に普及啓発活動及び出前講座や研修等を行ってもらいたいと考えている。将来的に、聴覚に障がいのある方だけでなく視覚に障がいのある方、そのほかコミュニケーションに関する支障がある方に対する支援も行っていく。

◎保育人材確保事業費

質疑 保育士確保の効果は。

答弁 平成30年度の4月と平成31年度の4月と比較すると、8割程度達成ができて50名の増となっている。しかし、待機児童の解消には至っていない。

質疑 残り2割を埋めれば、解消となるのか。

答弁 保育士業務の軽減を図ることは、離職を減らし、待機児童の解消にもつながる。

◎健康マイレージ事業費

質疑 事業の継続は。

答弁 平成29年度から3年間取り組んで一通り事業としては終了した。令和2年度以降も継続したい。

質疑 事業効果は。

答弁 検診をして、医療費を抑えることが最終目標であり、データの推移など効果検証がまだできていない。

質疑 1500ポイントで500円相当の景品と交換できるが、設定が高すぎるのでは。

答弁 今後は、単価及びポイント数を落とすような方向で考えたい。

◎休日歯科診療所運営費

質疑 利用状況は。

答弁 12月まで約483人の見込み。市内が約7割で県外は約3割となっている。

質疑 休日のみでなく歯科医師が効率的に回るような取組みはできないか。

答弁 医師を1人雇うのは厳しい状況。一つの方法として、指定管理者に委託し、その中で医師を確保した上で行えば考えられないことはない。

◎空き家等対策事業費

質疑 空き家等対策計画の策定及び空き家等対策協議会の設置の対応は。

答弁 4月より、審議会を法定協議会に移行し、空き家等の実態調査を全市で行い、そのデータを基に翌年度、計画を作りたい。

質疑 空き家対策の窓口は。

答弁 部署を一本化し、生活環境対策課内

に空き家対策室を設置する。

◎天徳温泉施設運営管理費

質疑 運営に関する温泉施設の調査スケジュールは。

答弁 3月末か4月上旬に調査結果が分かり、そこから運営方針の協議をしたい。

質疑 調査結果が出る前に、様々な課題対応策のシミュレーションを協議しておくべきでは。

答弁 判断を素早く下せるように、準備を進めたい。

《現地調査》

- ・おうち温泉天徳の湯（相知町）
- ・老朽危険空き家（相知町）
- ・旧岩屋保育園（厳木町）



おうち温泉天徳の湯（相知町）

議会を傍聴してみませんか

3月定例会の傍聴者は、本会議延べ32名でした。次回の市議会定例会は6月に開かれる予定です。車椅子専用の傍聴席（2席）も整備されています。昨年6月議会から音声を手動で文字化し、傍聴者用のモニターに映し出すシステムを導入しました。

一

般

質

問

3月定例会の一般質問は、3月12日、13日、23日、24日の4日間行われ、19名の議員が登壇しました。

市民の声を代弁する 一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が質問・答弁の原稿を提出し、その内容に相違がないときは原則として原文のまま掲載をしています。質問の文章を多くしたり、答弁を詳しく表現するかは各議員の判断としています。

●凡例

総務...総務部長、政策...政策部長、財務...財務部長
市民...市民部長、保健...保健福祉部長
農水...農林水産部長、経観...経済観光部長
未来...未来創生部長、都市...都市整備部長
ボ企...ボートレース企業局長、教育...教育部長

「質問」制度の周知徹底と要支援者の登録を推進していくためには、情報の提供や共有を徹底すべき。その為には保健師やケアマネージャー、障害者福祉サービスマネージャー、障がい者相談支援センター、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、



原 雄一郎
(志政会)

災害時の障がい者支援について

「質問」障がい者など、災害時に支援を必要とされる方を対象とする「避難行動要支援者」リスト。この対象要件に該当しない方であっても障がいの内容によっては避難支援を必要とされている方がいるのではないかと「保健」リストに該当しない方がいることが認識されているが具体的な人数は把握できていない。「質問」避難行動要支援者の対象要件を見直すべきではないかと「保健」見直し作業を進めたい。

民生委員・児童委員等の協力を得る仕組みづくりが必要ではないかと「保健」関係機関と協議し連携体制を整備していくよう進めている。「質問」災害時に要支援者を支援する際には障がいの内容等に沿った特別な配慮が必要な場合がある。地域の消防団や自主防災組織などの支援者となる方たちにご理解頂くための情報発信が必要では。「保健」まずは特別な配慮が必要な方への接し方を整理したチラシを作成し、自主防災組織や地区民生児童委員協議会、消防団などの支援者となる立場の方々に配布し、周知を行っていききたい。「質問」講習等も必要では。「保健」検討したい。



「質問」市が策定する各種計画や「環境だより」等へ、SDGsのロゴを表示するなど、意識付けの取組みをしてはどうか。「政策」職員が日頃から意識し業務に取り組みることが重要。これから策定する各種計画へのロゴ表示を検討するよう周知した。



宮本悦子
(公明党)

SDGs（持続可能な開発目標）の推進について

「質問」本市におけるSDGsへの取組みは。「政策」SDGsの本質を理解するために、令和元年度より講演会や研修会等、5回実施。また内閣府に設置されている「地方創生官民連携プラットフォーム」に入会した。今後は、積極的にこれを利用し、持続可能な地域社会実現に向け努力する。「質問」学校教育における今後の取組みは。「教育」日常の教育活動において、SDGsのロゴ掲示やカードゲームを利用するなど研修等で、教師の意識向上を図る。

また、本年度末に策定する「唐津市総合計画後期基本計画」では、地方創生を強く推進する観点からSDGsロゴの表示を行う。「質問」定期船「ニューたかしま」の現状は。「未来」平成30年度は53日間114便、令和元年度（9月末現在）は44日間100便に欠航及び時刻変更などの影響が出ている。「質問」島民の皆さまの安全安心な生活を確保するために、スピード感をもって解決していく必要があるのでは。「未来」土砂堆積の問題に対し、市として方針を決定し、実施するための予算を令和2年度中に補正予算が計上でできればと考えている。





江里孝男
(志政会)

生活交通について

質問 蔽木エリアの変更及び既存と違う点は。

未来 定時定路線で運行していた天川線及び星領線を廃止し、予約型のデマンドタクシーによる運行へ運行形態を変更する。

質問 12月議会で交通会議を開催し自家用有償運送について議題にあげる

とのことであったが。

未来 令和2年1月10日に開催し、地域の取り組み事例として報告した。

質問 なぜ議題にあげなかったのか。

都市 交通会議の議題としてそぐわない状況であったので報告とした。

公共施設について

質問 相知蔽木市民センター建設は、当初合併特例債で平成32年度完了と

答弁があった。いつから要検討となったか。

政策 令和2年1月の大型事業のヒヤリングの結果「要検討」と判断した。

質問 今後の計画は。

総務 「要検討」となっ

たため、今一度立ち止まって熟考することにした。

質問 相知、蔽木市民センターの耐震化の状況は。

総務 相知市民センター本館及び蔽木市民センターは、建て替えを検討していたため耐震診断はしていない。

質問 耐震診断は。

総務 蔽木市民センターについては行う。

質問 市長は市民センター強化を公約にされている。

市民センター建設は、機能強化につながるの

で平成32年度までに計画をしっかりと進めると答弁されているが。

市長 事業費の増加など新たな課題にも対応する必要があり、財源調整も必要となった。施設の耐震等もあるので、方針について早急に対応したい。

たため、今一度立ち止まって熟考することにした。



相知市民センター



浦田関夫
(日本共産党)

原子力防災について

質問 甲状腺がんの抑制に有効とされている安定ヨウ素剤の事前配布の準備状況は。

保健 安定ヨウ素剤の配布率は、PAZ圏内の40才以下は46・0%。UPZ圏内の40才以下は0・5%。薬局での事前配布

や1才6ヶ月・3才の乳幼児検診時の事前配布について県及び薬剤師会と協議中である。

質問 玄海原発が放射能放出事故を起こした場合の避難所の「運営マニュアル」はあるのか。

総務 自然災害の時のマニュアルを準用したい。

質問 避難所は誰が責任をもって運営するのか。

総務 主体は唐津市だが、一週間ほどは避難住民の送り出しに全力をあげる

ので避難先自治体に頼らなければ難しい。

質問 受け入れ自治体と協議はされているのか。

総務 受け入れ自治体との情報交換は年一回で、

詳細なやり取りはしていない。学校現場の多忙化解消について

質問 令和2年度教育予算で、支援が必要な児童生徒が新年度は172人増え503人と大幅に増えたにも拘わらず「生活支援員」は前年度と同数の65名にした根拠は。

教育 「実施要綱に基づく審査」で、支援員数を101名に絞り、二次審査は現地調査などで同数を予算要求した。

上場開発農地維持負担金の軽減を求めることについて

質問 上場開発維持負担金の農家負担金の軽減を求める。

農水 九州管内の国営灌漑排水事業区23団体として国へ働きかけるよう要望していききたい。

学校給食の無償化と地場産業について

質問 人口減少の状況、少子高齢の状況、今後の見通しについては。

政策 平成27年、総人口約12万3千人、年少人口約1万7千人、老年人口約3万6千人。25年後(令和22年)では、総人口約8万8千人、高齢化率35・4%と推計される。

質問 人口減少対策等。今後の打開策については。

政策 人口減少対策に係る「移住促進プロジェクト費」「出会い創出事業費」若者世代への支援として「子ども・子育て支援事業費」「妊娠・出産包括支援事業費」また働く場所を確保するため「企業誘致促進費」などの事業に取り込む。また、打開策としては現状では有効な施策について模索中。

質問 少子高齢・人口減少対策に有効な対策として子育て世代への支援は優先的に行うべきであり、中でも「学校給食の無償

化は、有効な手段と考えるが。学校給食の目的については。



古藤宏治
(清風会)

学校給食の無償化と地場産業について

質問 人口減少の状況、少子高齢の状況、今後の見通しについては。

政策 平成27年、総人口約12万3千人、年少人口約1万7千人、老年人口約3万6千人。25年後(令和22年)では、総人口約8万8千人、高齢化率35・4%と推計される。

質問 人口減少対策等。今後の打開策については。

政策 人口減少対策に係る「移住促進プロジェクト費」「出会い創出事業費」若者世代への支援として「子ども・子育て支援事業費」「妊娠・出産包括支援事業費」また働く場所を確保するため「企業誘致促進費」などの事業に取り込む。また、打開策としては現状では有効な施策について模索中。

質問 少子高齢・人口減少対策に有効な対策として子育て世代への支援は優先的に行うべきであり、中でも「学校給食の無償

化は、有効な手段と考えるが。学校給食の目的については。

教育 「日常おける食事について正しい理解と望ましい習慣を養うこと」「学校生活を豊かにし、明るい社交性を養うこと」「食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進を図ること」「食糧生産、配分及び消費について、正しい理解に導くこと」。

質問 食材の現在の地産地消については。

教育 東部学校給食センターにおいては主食が89%野菜類55%畜産物が82%水産物など48%。

質問 学校給食の無償化については。

教育 財源の確保、一部無償化した場合、負担の公平性のため検討中。

化は、有効な手段と考えるが。学校給食の目的については。





山下 壽次
(清風会)

TMR製造と今後の取組みについて

質問 畜産業の課題は。

農水 飼料生産に係る労働力やコスト軽減。

質問 現在の飼料情勢は。

農水 濃厚飼料は約80%、粗飼料は約20%を輸入に依存。価格は穀物相場等に影響を受け、価格の高止まりが続いており、飼料コストの削減が急務。

質問 飼料コストの削減方策、手段は。

農水 WCS等の自給飼料の増産。飼料用米の活用、TMR飼料の製造による自給率向上とコスト低減の取組みが必要。

質問 市内のWCS等の作付け状況や情勢は。

農水 飼料用米は、3戸0.8ha。WCSは畜産農家の需要が高く、266戸約250ha。転作物物の選択肢として、一定規模が継続していくと考える。

質問 TMR飼料とは。

農水 粗飼料とトウモロコシなどの濃厚飼料にビタミン等を加え混合した

いわゆる「牛の混ぜご飯」。なお、これ以外のエサを家畜に与える必要がないので、完全混合飼料とも呼ばれている。

質問 TMRセンターの整備状況は。

農水 平成28年、全国で137か所。市内では一社が製造販売を行っている。

質問 効果、課題は。

農水 効果は肉質等の向上、飼養頭数の増加、飼料費の削減が可能。課題は運転資金や労働力、飼料作物の生産者確保。

質問 畜産経営の課題である飼料に関して、市今後の展望は。

農水 経営規模の拡大が進むにつれて、労働負担が大きい飼料生産は畜産経営の大きな課題。今後TMR供給体制の整備に、関係機関と情報を共有し研究していきたい。



中川 幸次
(公明党)

新庁舎の運営について

質問 新庁舎の防災機能は。また、浸水対策は。

総務 免震構造により地震時においても行政機能を継続。迅速に災害対応できるよう対策本部や市長関連諸室を隣接して配置。災害時は、非常用自家発電で72時間の業務が可能。4日分の給水も確保し、緊急排水槽で7日間の下水貯留ができる。

敷地は津波や浸水の想定区域に入っており、南側の県道から15m高く、集中豪雨にも排水をスムーズに行う機能がある。

質問 総合窓口の状況は。

保健 特に1階フロアは関係部署が連携して、所属を超えて窓口業務ができるようなレイアウトにしており、出先機関である健康サポートセンター「さんて」や障がい者支援センター「りんく」の窓口部門を設置する。

離島における運搬船の確保について

質問 これまでの取組は。

未来 代替船を確保するため県外業者への運航委託を決定。また、財源の確保が課題で、まずは、現在、整備されていない運搬船の建造や運航に対する補助制度の創設等を国・県に要望していく。

質問 具体的な活動は。

未来 本年1月に県選出国會議員に要望書を提出しており、3月には佐賀県知事へ陳情書、5月には国へ補助制度の創設を求める要望書を提出する。地域の居場所づくりについて

質問 子ども食堂や地域食堂、フードバンク等に対する市の考えは。

保健 「地域の居場所」としての機能も期待しており、総合的な観点から効果的な支援策を講じるため「子ども未来応援推進計画(仮称)」を策定する。

食卓を囲む子どもたち

食卓を囲む子どもたち

食卓を囲む子どもたち



吉村 慎一郎
(志政会)

漁業振興について

質問 水産資源の回復に向けた取り組みは。

農水 近年は「作り育てる漁業」に積極的に取り組んでおり、種苗購入・放流事業や磯焼けの要因となる有害なガンガゼの駆除や、藻場の保全など行っている。

質問 放流事業について、大規模な放流の考えは。

農水 県では、今年度より4か年事業で、ナマコ4千個、クロアワビ2万9千600個、ウニ50万個の種苗放流を実施。

質問 九州大学と共に研究されている新水産産業資源創出プロジェクトの成果と今後の取組みは。

農水 研究プロジェクトの中で、各種事業に取り組んできたが、販売まで行うことが出来たのは、「唐津Qサバ」である。

この研究プロジェクトは、今年度で、核燃料サイクル交付金による契約期間が満了し、研究も終了すが、九州大学が独自で研

究費を準備し、水産業に関する研究を引き続き行う。

質問 新規漁業就業者の確保に向けた今後の対応は。

農水 広報活動はもちろんのこと漁業研修生と漁業者と情報交換や要望聴取等を行い、県や漁協等の関係機関と連携を密にし、漁業就業者の確保や唐津に定着できるように支援に取り組む。

質問 漁業振興と洋上風力発電の関係性は。

農水 五島市において建設後には、風車の海中の柱部分に海藻が茂り、漁礁と同じ状況となっていた。このことにより、漁礁による漁業振興という観点から洋上風力発電事業が、一定程度の効果があると認識している。

水産業活性化支援センター

水産業活性化支援センター

水産業活性化支援センター



水産業活性化支援センター



山下正雄
(志政会)

新型コロナウイルスについて

質問 新型コロナウイルス感染症の唐津市における検査・治療体制は。

保健 唐津保健福祉事務所内に帰国者・接触者相談センターに相談し医師が判断し佐賀市にある佐賀県衛生薬学センターでPCR検査を行う。唐津市にある感染症指定医療機関で治療する。

質問 熱のある人の外出自粛や公共施設に体温計やセンサーを置き、注意をもっと喚起すべき。

保健 ホームページや行政放送等で行っている。

質問 教育現場の状況は。

教育 大きな問題はない。学習の遅れは新学期に学習も可能。

質問 社会的経済的影響は。

経観 観光業、農水産業、製造業、飲食業、小売業、卸売業、建設業、輸送業等大きな影響がある。

質問 市の独自の経済対策を早急に臨時議会を開

き実行すべき。
市長 国・県の動向を注視し実施を検討する。財政計画について

質問 財政計画が発表のたびに目標指標が大きく違う。

財務 現状と社会情勢で目標指標を見直している。

質問 財政の自由度を計る経常収支比率の目標は一度も達成していない。

財務 経常経費の削減に向け努力する。

質問 行政改革がトーンダウンしている。

政策 行政改革委員会等で事務改善している。

質問 市民はふるさと寄附金、ポータルレス事業で財政難とは思っていない。

政策 唐津創生会議等で市民の声を聞いている。

質問 公共施設再配置計画に定員管理計画がない。

政策 総務部と協議する。



白水敬一
(公明党)

新型コロナウイルスの影響と対策について

質問 発生からの唐津市の現状と情報発信は。

保健 対策の計画作成と対策室を設置。15日までの小中学校の休校を決定。随時対策への広報等。HP・行政放送で情報発信している。

質問 休校での保護者への注意喚起や児童生徒への心理的ケア対策は。

教育長 文書通知や家庭訪問で健康状態・学習状況をフォローしている。

質問 再開後給食提供は。

教育長 給食センターや自校方式では食材の調達困難で提供できない。

質問 児童クラブは教室より密集している。その対策は。

保健 現在は35%ほど。手洗い等衛生管理努める。

質問 休校やイベント集会等の自粛で観光業、商工業、農林業が大きく落ち込んでいます。国県との正確な情報共有と関係者への的確な情報発信、関

係者からの現状要望等対策を把握することが重要だ。影響と対策は。

影響と対策は。
経観 年度末で、大きな影響が出ている。国の支援等関係者に的確な情報を発信していく。

質問 マスクや除菌スプレー等の品切れと対策は。

保健 現在入手困難な状況。今発注しても4・5月になる。適切な使用と手洗い励行をお願いする。

質問 市の備蓄マスクを医療や介護関係者等に配布できないか。

保健 関係部署で検討したい。

質問 今後のイベント等の開催と市としての情報発信は。

保健 現在の対応を継続したい。国県の最新情報を収集し、市民の皆様に的確な情報発信に努めていく。



松崎三千夫
(清風会)

松原問題について

質問 昨年の事故以来の対応について説明を。

教育 7月20日の事故から4日間緊急点検をし、29本を文化庁に確認し伐採。その後唐津土木事務所から228本は危険度が高いE評価で、内13本は早急な伐採が必要との診断がされ、「虹の松原の保全と安全確保に関する会議」、「市政戦略会議」で妥当と判断し唐津市教育委員会が伐採の許可をした。

質問 以前は松原の木を切ることは許されなかったが、今回の決定には驚かされた。又教育委員会が伐採の権限を持っているとは知らなかったが。

教育 平成23年10月のJR九州の伐採許可申請の際、軽微な変更は地方分権一括法に伴う権限移譲により行っている。

質問 今回のような診断をされ点検をされていたのは、事故は防げていたのでは。

教育 今回の松は途中から折れており、これまでとは違う事例であった。
質問 今回の様な急な通行止めにより松原入り口で交通渋滞が起きている。分かりやすい告知板の設定をお願いしたいが。

都市 道路管理者である唐津土木事務所に対応をお願いしたいと思う。

質問 松原の事故と人口増、大型店の進出により車の流れが変わり、鏡山バイパスを通る人が増えている。田中交差点から虹の松原自動車学校前を過ぎて市道との三差路は右折がしづらく、危険である。信号機の設置が必要と考えるが。

都市 地元からの要望はないが、交通量が多く必要と考えている。まずは唐津警察署に相談したい。



虹の松原



青木 茂 (1期) (志政会)

「スポーツ振興で唐津を元気にX」について

質問 武道クラブの状況と道場数・クラブ員数は。

未来 42の団体に84人が所属。柔道7団体70人、剣道14団体318人、相撲7団体268人、弓道1団体33人、空手道13団体157人。中学校部活動として剣道部98人、柔道部19人が所属。

質問 取組状況と海外の武道合宿の受入実績は。

未来 武道をターゲットとした誘致活動はなく、広くすべてのスポーツを対象としている。イギリスのカーディフ剣道会」を13人合宿受入。

質問 武道ツーリズム推進について、市の考えは。

未来 国が示す情報を注視しながら、どのように取り組むべきか、研究を重ねていく。

質問 地域スポーツコミッション設立への取組は。

未来 協議会組織を設立し、官民一体となった取

り組みを進める。
質問 協議会の活動により、どのような効果が期待されるか。

未来 官民が連携し横断的な組織活動により、行政だけでは成しえない様々な効果が期待できる。

質問 スポーツ・運動を通じた健康増進と病気の予防、健康状態との関係は。

保健 生活習慣病を予防するため、食生活の改善や運動習慣を身につけることが重要で、その取り組みを行う。

質問 健康づくり事業や健康寿命延伸の取組は。

保健 定例ウォーキング、ゴミ拾い等清掃活動を実施。生活に合わせた保健指導を行う。



伊藤 泰彦 (新生会)

洋上風力発電について

質問 洋上風力発電の佐賀県の実況及び今後のスケジュールとメリット・デメリットについて

政策 佐賀県主催による洋上風力発電に関する説明会が昨年末から本年2月にかけて玄海町及び馬渡島で開催されている。現在、候補地海域の検討が行われており、整理後佐賀県から国へ海域の情報提供が行われ、国により「法定協議会」が設置される。協議会での審議を経たのち経済産業大臣及び国土交通大臣による「促進区域」の指定がなされる。その後公募により国が選定した事業者による「環境影響評価」が4～5年程度行われ、建設に着手される。建設工

事期間は、2～3年で、運転期間が20年間の予定。メリットとしては、二酸化炭素等を排出しないため環境負荷が少なく、投資金額が巨額なことと20年間のメンテナンス等に

より地域への大きな経済波及効果が期待される。また、施設が漁礁になることも期待される。デメリットとしては、工事期間中の魚の減少及び景観への影響が懸念される。

質問 当該プロジェクトは、佐賀県並びに唐津市にとって大きなビジネスチャンスと考える。今後どう取り組まれるのか。

市長 洋上風力発電は、「唐津市再生可能エネルギー総合計画」の中でも導入推進項目としている。また、多額の経済波及効果や港湾利用が期待されるため、関係者の意見を整理し、佐賀県と協力し進めて参りたい。



酒井 幸盛 (展望会)

市長の政治姿勢、政策の問題点について

質問 施策自体を見直し、優先順位など早急に対応する必要があると思う。前の質問でも何回も申したように財政計画は、その収支見直しにおいて具体的な試算が必要である。そのためには、想定される主な事業では、本来の計画の役割は果たせないと思う。したがって施策自体を見直し、優先順位など早急に対応する必要がある。それを行うのは、市長の強力なリーダーシップが必要。

市長は「今後は劇的な歳入増加は見込めない中で、何が必要でないかをしっかりと見極め、先頭に立って行政改革を進めていく」と以前答弁されたが、答弁と違っている。私らがなぜ3年間近く声を荒だててきたかわかりますか。

このような考え方の財政計画でいけば唐津市民が大きく負担を強いられることになると思う。

特に歳入についての考え方に不安を感じる。地方での暮らしを支える政策を国にも求めるべきと思うがどうですか。また、先ほどから言っているように「歳入あつての歳出」であり、歳入の減少に対しては、新しい歳入を見出すか、歳出を抑制するしかない。

そのためには、市長のリーダーシップにかかっていると思うがどうか。

市長 市政を預かるうえで、財政の健全化は、最優先すべき課題であり、今後、歳入の大幅な増加は見込めない中で、新たな財源の確保に努めるとともに、真に必要なものをしっかりと判断し、引き続き、先頭に立って行政改革を進めていきたい。



唐津市議会議場



福島 尚美
(泰推海)

自衛隊への個人情報提供について

質問 昨年の答弁で、自衛隊へは平成27年度1376人の名簿を提供、平成28年度1399人の名簿を提供、平成29年度687人の名簿を閲覧、平成30年度1386人の名簿を提供ということだったが、令和元年度はどうか。

市民 2307人の名簿を提供。

質問 提供数が増えているが内訳は。

市民 18歳に到達する人が1310人、22歳に到達する人が997人。

質問 イベントでの自衛隊ブースの設置や、虹の松原清掃への参加、コンビニや駅へのポスター掲示の普及などの現状がある。個人情報の提供が隊員の募集に必要とは思えないが、入隊者に繋がっているのか。

総務 各隊員が入隊に至る経緯や動機については様々な要因があると考え

られ個別要因についての分析は難しいとの佐賀地方協力本部唐津出張所の回答をうけた。

質問 唐津市では随分前から住民基本台帳法による閲覧ではなく提供していたようだが、どういう経緯でいつから提供に変わったのか。

市民 平成29年度まで住民基本台帳法にある「閲覧」として提供していた。提供になった時期は記録に残っていない。

質問 防衛大臣は「名簿の提出は強制ではない」としている。住民基本台帳法の閲覧の扱いに戻すべき。提供は唐津市の判断でありトラブル等の際は唐津市に責任があると考えらるがどうか。

市民 個人情報は法に基づき防衛省が適切に管理し、市は指導を徹底する。



宮崎 卓
(清風会)

特別史跡名護屋城跡並びに陣跡について

質問 名護屋城跡のこれまでの取組については。

経観 情報発信や九州オトルレ等を利用した集客促進事業や観光客の滞在時間の延長、城跡を利用した新能やスポーツチャンバラなどに取組んできた。

質問 これまでの取組の成果と課題は。

経観 成果は、城跡や陣跡を中心に周辺地域と連携した集落拠点の形成で呼び、鎮西エリアの繋がりが芽生え、色な面で観光客の満足度が向上。課題は、客とそのスポットでの消費やニーズに結びつかない総合的な分析や城跡・陣跡を知らしめる努力が必要。

質問 名護屋城跡、陣跡の活用不足については。

経観 当時の日本政治の中心で、城跡には130を超える陣跡に20万人以上が住み、豊臣秀吉を中心として7年間政治が行われたことは史実であり、稀

なことである。これらにまつわる多面的な資源は多いが、活用が充分でなく、推進体制を整えることが急務である。

質問 組織体制の強化は。

経観 城跡や陣跡が持つポテンシャルを活用するため呼び、鎮西エリアの歴史・観光に特化した専門部署を設置し、組織の強化を図る。具体的には、令和2年4月から観光課の中の観光地経営戦略室を「観光地経営戦略・肥前名護屋城室」に改称し、実践的な段階へ移行して、利活用に向けて誘客や周遊促進を図りたい。

質問 名護屋城に対する市の考え方は。

市長 県も観光資源として名護屋城と陣跡に注力すると聞いている。原石に近い城跡、市も室を設け皆さんと頑張る。



名護屋城跡



林 正樹
(展望会)

文化財について

質問 文化財の定義、指定の要件は。

教育 人間の文化的、生活活動によって生み出され、残されているもののうち、歴史的、文化的価値の高いものを指す。このうち特に価値の高いものを指定文化財。

質問 文化財の発掘調査の方法とその期間、人員や出土品の管理状況は。

教育 記録保存のための緊急発掘調査、指定、もしくは指定を目指すための重要遺跡の調査。昨年度の実績では、緊急発掘調査を4件、重要遺跡の確認調査を3件実施。調査期間は遺跡の規模により、数週間から数年を要する。人員は担当職員1、2名と作業員10名前後で行う。出土した土器などの遺物については警察へ届出、持ち帰り洗浄、図画、写真撮影ののち報告書を作成し、終了したものは収蔵庫に保管。

質問 市民の個人宅にあ

る壺が、元々は旧高取邸にあったものであると、そうであるならどうい対応をしたらよいか相談を受け壺を確認した。高さ1m、幅80cmぐらいの白磁の壺だった。市は知っていたのか。

教育 寄託品は一点一点確認しリストを作っている。

質問 適切に管理されていないかった可能性がある点とその後に対処をされた市民の今後の対応は。

政策 市としては、リストにないので関与はないが、教育委員会と再度確認する。



白磁の壺



大西 康之
(志政会)

業務発注について

【質問】入札不調件数平成30年度7件、令和元年度は災害を除き14件。要因は現場代理人、労働者の人手不足との事。余裕期間制度（余裕期間内で工事着工日を施工者が決める）を導入すべきでは。

【財務】メリットは理解している。早急に検討する。

【質問】コンサルタント業務委託の入札状況は。

【財務】予定価格は事前公表、最低制限価格は事後公表。最低制限価格でのごじ引きが、5年間平均で18%、最低制限価格以下での応札が、年間2件から11件である。

【質問】土木一式、建築一式工事の入札状況は。

【財務】予定価格、最低制限価格とも事前公表。最低制限価格でのごじ引きが、5年間平均で58%。

【質問】総合評価落札方式を採用し、ごじ引きになり難くしているとの事だが、58%のごじ引き率では効果が出ていないが。



【財務】現在の総合評価制度がベストではない。ごじ引きについては、落札者が偶然により決定されるなど、望ましくない。

【質問】国の指針に沿って、佐賀県、佐賀市と同様に最低制限価格を事後公表とすべきでは。

【財務】現在の制度が最善ではない。入札監視委員会に意見を伺い、最低制限価格を事後公表とする時期について検討する。

【質問】入札監視委員会は入札後の検証の場。内部に唐津市指名等審査委員会があるが如何お考えか。

【副市長】国の指針でも事後公表であり、事後公表が望ましい。指名等審査委員会では意見を伺い、政策調整会議に諮る。

【財務】次回の指名等審査委員会を早急に開催し、委員の意見を聞く。



石崎 俊治
(志政会)

データについて

【質問】今、取り組んでいる統計調査と新年度以降の主な取り組みは。

【政策】今年度は、「経済センサス基礎調査」、「全国家計構造調査」、「農業センサス」などで、新年度以降は、今年の10月1日は、「国勢調査」が実施され、翌年には、「経済センサス活動調査」等が予定されている。

【質問】国勢調査に向けた職員の協力体制は。

【政策】まず、政策部長を実施本部長とした実施本部を組織し、市政戦略課長を事務局長とし、各市民センター長を支部長、総務福祉課長を支部の事務局長とし、全庁的な協力体制を図って取り組んでいきたい。

【財源確保について】

【質問】国県等の有利な財源確保に向けた人材育成への取り組みは。

【市長】国等の補助金の採択を受けるには、書類の作成能力や事業の説明能

力が必要とされる。その能力を養う為、国の機関や佐賀県等、他の機関の業務に派遣し、人脈作りと意識の高い人材の育成に向けて、可能な限り取り組んでいきたい。

防災対策について

【質問】各地で「大雨特別警報」が出されるようになってきた。市も防災計画や防災体制の見直しが必要では。

【総務】防災計画や職員体制を見直すため、職員の意識改革や全庁横断的な協力体制を構築するための取り組みに着手している。本庁と市民センターの連携強化も含め、6つの分科会を設け作業を進めている。今年の5月下旬には検討委員会を開き方針や体制を整備する予定。



意見書(要旨)

市議会では、意見書として、権限を持っている行政機関に提出し、解決を求めめるために議会としての意思を表明しています。

■唐津市の離島における家庭ごみ等の収集運搬に要する費用負担の軽減を求める意見書

唐津市の離島においては、家庭ごみ等の海上輸送を民間業者に委託しているが、搬送の費用が高額であることから、地理的条件による搬送費用を十分考慮し、家庭ごみ等の島外搬送費について、特別な財政的支援措置を講じるよう国に要望すること。

■中高年のひきこもりに対する実効性のある支援と対策を求める意見書

「8050問題」など世帯の複合的なニーズやライフステージの変化に柔軟に対応できるよう、「断らない相談支援」や「伴走型支援」など、市区町村がこれまでの制度の枠を超えて包括的に支援することが出来る新たな仕組みを構築すること。

■新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書

国会及び政府において、市民等の安心・安全を確保するとともに不安を解消するために、早急に感染拡大の防止策を講じ、市民への影響を最小限に抑えるよう、特段の措置を講じるように強く要請する。

意見書の全文及び提出先は、唐津市議会のホームページで閲覧できます。

委員会提出議案第1号

「唐津市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について」を可決

議員定数を30人から28人へ 令和3年1月執行予定の市議会議員選挙より2人削減する。

提案理由

議会の役割やその権限を確認し、本市議会の議員定数について検討してきたなかで、行政改革は喫緊の課題であり、まず市議会議員が率先して改革に取り組む必要があること、また、市民の負託に応えるための議会機能が必要であることなどを総合的に勘案した。

今後も議員一人一人の資質を高めるとともに、議会機能向上をはかる

委員会提出議案第2号

「唐津市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について」を可決

唐津市水道事業の設置等に関する条例の一部改正に伴い、市の組織に変更が生じたため次のように改正した。

唐津市議会委員会条例 第2条

(3) 都市整備委員会 7人

ウ 水道局の所管に属する事項 → ウ 上下水道局の所管に属する事項

委員会提出議案第3号

「唐津市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について」を可決

議会運営委員会委員定数の変更に伴い、唐津市議会委員会条例（平成23年条例第1号）の一部を次のように改正した。

議会運営委員会の委員の定数を「9人」から「8人」に改める。

議席変更

福島尚美議員の新会派結成に伴い、議席が変更になりました。

7	8	7	8		
林 正樹	酒井 幸盛	福島 尚美	伊藤 一之		
17	18	19	17	18	19
福島 尚美	浦田 関夫	伊藤 一之	林 正樹	酒井 幸盛	浦田 関夫

編集後記

新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大し、東京オリンピックも延期になりました。また、議会についても日程を変更して審議をしました。一人一人が「3つの密」に注意をして感染しないよう努めてください。

令和2年度予算は約693億円という過去最大の予算でした。適正に業務が行われているのチェックをしていかなければなりません。

限られた紙面で審議の内容を詳しくお伝えするのは十分でないかも知れませんが、さらに分かりやすい議会だよりとなるよう努力をしたいと思います。

今後とも、ご愛読くださいますようよろしくお願いいたします。

◎ 発行：唐津市議会

◎ 編集：「唐津市議会だより」編集委員会

唐津市議会事務局内

☎ 72-9162 FAX 75-1515

(☎847-8511 佐賀県唐津市西城内1番1号)

唐津市議会がインターネットで視聴できます

【放送する議会】

定例会および臨時会、決算・予算等特別委員会

【視聴方法】

唐津市議会ホームページからご覧いただけます。

令和2年1月10日から、スマートフォン・タブレットでも視聴可能となりました。

※録画配信については、会議終了後、概ね3日（土・日・祝日を除く）以内に配信を開始します。

【問い合わせ】

議会事務局 TEL0955-72-9162

唐津市議会 インターネット中継

検索

「唐津市議会だより」編集委員会メンバー

議会だより編集委員会の委員も変更になりました。今回の第68号からこのメンバーで議会だよりを発行していきます。

- | | | | |
|--------|----------|-----|-------|
| ・委員 長 | 吉村慎一郎 | ・委員 | 伊藤 一之 |
| ・副委員 長 | 馬場 幸年 | ・委員 | 林 正樹 |
| ・編 集 長 | 江里 孝男 | ・委員 | 大西 康之 |
| ・委 員 | 原 雄一郎 | ・委員 | 熊本 大成 |
| ・委 員 | 青木 茂(1期) | ・委員 | 宮本 悦子 |
| ・委 員 | 古藤 宏治 | | |